

公立大学法人静岡文化芸術大学 令和2事業年度計画 用語解説

(五十音順)

用語	解説
IELTS(アイエルツ)	International English Language Testing System。英語によるコミュニケーション能力(リスニング・リーディング・ライティング・スピーキング)を幅広く評価する世界的に認められた英語運用能力試験。その成績結果は、留学や移住の際に必要なとされる資格として、多くの国で採用されている。
アウトソーシング	外注、外製(がいせい)ともいい、企業や行政の業務のうち専門的なものについて、それをより得意とする外部の企業等に委託すること。
アーカイブ	重要記録を有効活用するため、保存すること。
e ラーニング	e ラーニングの“e”は、electronic(電子的な)の意味であり、機器としてはパーソナルコンピュータ、CD-ROM、DVD-ROM、デジタルテレビ、携帯端末(携帯電話、PDA(携帯情報端末)等)などがある。これらの機器と併せて、インターネット、ビデオ配信等の情報通信を活用した学習形態をいう。
インターンシップ	学生が在学中に、企業等において自らの専攻や将来希望する職業に関連した就業体験を行うこと。
HSK(エイチエスケー)	読む・書く・聞くで構成されている中国語検定試験で、その成績証明は中国政府が公認し、世界中で公的証明として用いられている。
LMS(学習管理システム)	Learning Management System。学生へ講義資料や参考書の提示や小テストの実施ができ、講義への質問やコメントの集約とそのフィードバックによる双方向授業を実現するシステム。
LGBT	「レズビアン(女性同性愛者)」、「ゲイ(男性同性愛者)」、「バイセクシュアル(両性愛者)」、「トランスジェンダー(性別越境、性別違和)」のそれぞれの英語の頭文字からとった性的少数者の総称。
CAP制(キャップ制)	<p>単位の過剰登録を防ぐため、1年間あるいは1学期間に履修登録できる単位の上限を設ける制度。</p> <p>日本の大学制度は単位制度を基本としているが、大学設置基準上1単位は、教員が教室等で授業を行う時間に加え、学生が予習や復習など教室外において学習する時間の合計で、標準45時間の学修を要する教育内容をもって構成されている。また、これを基礎とし、授業期間は1学年間におよそ年30週、1学年間で約30単位を修得することが標準とされ、したがって大学の卒業要件は4年間にわたって124単位を修得することを基本として制度設計されている。</p> <p>学生が過剰な単位登録をして、3年で安易に124近くの単位を修得し、結果として45時間相当に満たない学習量で単位が認定されているという現象が生じたことから、大学設置基準で「大学は、学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するため、卒業の要件として学生が修得すべき単位数について、学生が1年間又は1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限を定めるように努めなければならない」と規定された。</p>

用語	解説
クォーター学期制	学校の1年間を四つの授業実施期間に分ける制度。学期の区切りや休暇の配分は学校によりさまざまであるが、4～5月を1学期、6～7月を2学期、10～11月を3学期、12～2月を4学期とし、2学期と3学期の間に夏季休暇、4学期中の12月末から1月初めに冬季休暇、4学期の後に学年末休暇（春休み）を挟むのが一般的である。
高校生のための学びの基礎診断	義務教育段階の学習内容を含めた高校生に求められる基礎学力の確実な習得とそれによる高校生の学習意欲の喚起を図るため、高等学校段階における生徒の基礎学力の定着度合いを測定する民間の試験等を文部科学省が一定の要件に適合するものとして認定する仕組み。平成31年度から本格的に利活用開始。
国際アート・デザイン系大学連合（CUMULUS / クムルス）	アート及びデザイン教育と研究をテーマとするデザイン系大学の世界最大のコミュニティであり、芸術、デザイン、メディアの高等教育ネットワークとその効果的発展を目的とし、この高等教育機関とビジネス界との協力を促進する活動等を行っている。2020年3月現在、56カ国、299の大学又は団体が加盟。
GPA 制 (グレード・ポイント・アベレージ)	<p>アメリカにおいて一般的に行われている学生の成績評価方法の一種。一般的な取扱いの例は次のとおりである。</p> <p>①学生の評価方法として、授業科目ごとの成績評価を5段階(A、B、C、D、F)で評価し、それぞれに対して4・3・2・1・0のグレード・ポイントを付与し、この単位当たり平均(GPA)を出す。</p> <p>②単位修得はDでも可能であるが、卒業のためには通算のGPAが2.0以上であることが必要とされる。</p> <p>③3セメスター(1年半)連続してGPAが2.0未満の学生に対しては、退学勧告がなされる。(但し、これは突然退学勧告がなされるわけではなく、学部長等から学習指導・生活指導等を行い、それでも学力不振が続いた場合に退学勧告となる。)</p> <p>なお、このような取扱いは、1セメスター(半年)に最低12単位、最高18単位の標準的な履修を課した上で成績評価し、行われるのが一般的である。</p>
3ポリシー	大学の一貫性のある教育の質保証のため2017年より策定・公開することが義務付けられた、次の3つの基本方針をいう。「ディプロマ・ポリシー」学位授与方針、「カリキュラム・ポリシー」教育課程編成・実施方針、「アドミッション・ポリシー」入学者受入方針。
情報セキュリティ	<p>情報資産の機密性、完全性及び可用性を維持すること。</p> <p>(機密性) 情報にアクセスすることだけを認められた者だけが、情報にアクセスできる状態を確保すること。</p> <p>(完全性) 情報が破壊、改ざん又は消去されていない状態を確保すること。</p> <p>(可用性) 情報にアクセスすることだけを認められた者だけが、必要なときに中断されることなく、情報にアクセスできる状態を確保すること。</p>
SD(スタッフ・ディベロップメント)	教員に加え事務職員や技術職員など、教職員全員を対象とした、管理運営や教育研究支援までを含めた資質向上のための組織的な取組。
SA(ステューデント・アシスタント)	TAとは区別して、大学院生でなく、学士課程の学生を教育の補助業務に携わらせること。

用語	解説
多文化共生	複数の他者の民族、他者の文化の相互承認と共存が可能になっている社会の状態のこと。
定住外国人	一般的に、日本社会に長期間、生活の本拠を持ちながら日本国籍を有しない者という意味。外国人旅行者や1年～3年程度の間で日本で働く人（たとえば企業の駐在員や技能実習生）は除く。
チューター制	教員による学部学生への学修面を含めた学生生活全般に関する相談及び個別指導のこと。
TOEIC(トイック)	Test of English for International Communication。英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストであり、世界約60ヶ国で実施されている。
TOEFL(トーフル)	Test of English as a Foreign Language。アメリカ合衆国のNPOである教育試験サービスが主催する、英語を母語としない人々の英語コミュニケーション能力を測るテスト。大学のキャンパスや教室といった実生活でのコミュニケーションに必要な、「読む」「聞く」「話す」「書く」の4つの技能を総合的に測定する。英語圏の高等教育機関が入学希望者の外国語としての英語力を判定する際に用いる。
ピア・サポーター制度	学生生活上で支援や援助を必要としている学生に対し、学生同士で相談や手助けができるように大学が支援する制度。
FD(ファカルティ・ディベロップメント)	教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称。具体的な例としては、教員相互の授業参観の実施、授業方法についての研究会の開催、新任教員のための研修会の開催などを挙げることができる。
ふじのくに地域・大学コンソーシアム	高等教育機関相互の連携を深め、また、行政、産業界、非営利活動法人などと広範なネットワークを形成し、県内高等教育機関の教育力・研究力の一層の向上を図るとともに、それぞれの主体が一体となって、地域社会の発展に寄与していくことを目的とし、本県の大学間連携組織である「大学ネットワーク静岡」を発展的に改組し平成26年3月27日に設立。
リカレント教育	経済協力開発機構(OECD)が1970年代に提唱した、生涯学習の制度的形態。回帰教育、循環教育などとも訳される。社会に出てからも学校または教育・訓練機関に回帰する(戻ってくる)ことが可能な教育システム・体系のこと。広義には社会人が人生の途上でさまざまな形で学ぶことを意味するが、狭義には高等教育機関など整った教育機関で教育を受けることを意味する。
留学生SA	留学生がスムーズに本学での生活を送れるよう、留学生の学習、生活等を日本人学生が支援する制度。 ※平成30年度計画策定時は留学生パートナーSA(仮称)
Wi-Fi(ワイファイ)	無線でネットワークに接続する技術(無線LANの規格のひとつ)

※ 文部科学省資料、本学資料のほか、インターネットから作成